

“子どもたちが継ぎたくなる農業を見せること”



大津 敬美（由布市）
平成23年 就農
いちご



就農のきっかけと現在の取組

学校給食の栄養職員だった大津さん。ご主人のご実家がいちご農家で、一足先に就農したご主人からは仕事を続けることを勧められていましたが、出産を機に、「勤めに出るより子どもと過ごせる時間を大事にできるのでは」と就農を決意。

義父の病気でご主人に経営移譲してからは、家族経営から雇用型に切り替え、経理や労務管理を担当。ご主人と相談しながら適期作業を心掛け、規模拡大など意欲的に取り組まれています。

女性のパートさんが多く、トイレや休憩スペースなど環境整備には気をつけています。今後は、ほ場が分散しているため、各ほ場へのトイレ設置やプレハブの休憩所など、より働きやすい職場環境にしたいとのこと。作業は一生懸命に取り組めますが、仕事のことを考えない時間を作ることも大事と、夜はご主人やお子さん達とお菓子やジュースで「プチパーティー」を開き、リラックスタイムを楽しんでいます。



今後の展望と皆さんへ一言

現在、大分県の女性農業者組織「おおいたAFF女性ネットワーク」のグループ活動「いちごぶ」の会長を務めています。大分県農林水産祭では、県産いちごの普及に向け「ベリーツ揚げパン」を販売し、毎年大好評です。

また、後輩育成に向け指導農業士にも登録しています。高校生の娘さんが、楽しそうに作業する両親の姿を見て農学部に関心を持ったことから、現役世代が「継がせたい農業」「継ぎたくなる農業」を見せることで、魅力ある農業になると感じています。



※珍しい発芽したいちご。
大津さんには四葉のクローバ
的なラッキーアイテム！

令和7年7月作成

おおいたAFF女性ネットワーク

大分県で農林水産業に携わる女性が、交流活動や勉強会を通じてつながることでお互いの取組から学び合い、経営感覚と社会参画への意識を高めて夢や希望を実現する力をつけ、農林水産業の振興や地域活性化に繋ぐための活動の場です。

大分県HP
「おおいたAFF女性
ネットワーク」

